

「こころといのちをみつめる」子どものための本

今回おすすめする本は、子どもたちが読んでほしい「こころといのちをみつめる」ための本です。子どもが健やかに成長し、生きてくためには正しい知識を子どものうちから身に付ける事が大切です。そこで子どもに向けて「いじめのこと、心の中と向き合う方法、危険から身を守る方法、からだところの性についての悩み」などの本を集め、5月と6月に児童室に特集します。

1 冊目は朝日新聞社/編「いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ」です。

約 60 人の著名な人たちが、メッセージを書いています。いじめられながら、誰にも言えない苦しさが針のように胸に刺さったまま毎日を生きている人へ。友だちがいじめられているのを見ながら、自分には関係ないとおもっている人へ。これはあそびで、いじめじゃないと思い込もうとしている人へ。悩んでいるあなたの心に届き、希望を見つけてほしい本です。

2 冊目はあかね書房「じぶんでじぶんをまもろう ぜったいについていかないよ！ ゆうかい・つれさりにあわない」です。

知らない人から「おかあさんが事故にあった」「ほしいものをあげるからおいで」などと言われたときどうしますか。怖い、危険だと思ったらどうしますか。自分を守るための方法や毎日を安全にすごすために子ども自身ができることを考える本です。

3 冊目はジェシカ・ウォルトン/さく「くまのトーマスはおんなのこ ジェンダーとゆうじょうについてのやさしいおはなし」です。

くまのトーマスとエロールはいっしょに遊んだり食べたりする仲よしの友だちです。でも今日はなんだか元気がない。エロールに「ぼくは男の子じゃなくて女の子のくまなんだ。」って話したらもう友だちではなくなってしまうかもしれない。

女の子はみんな女の子の体で生まれてきて、男の子を好きになる。男の子は男の子の体で生まれて女の子を好きになる。そんなふうに考えている人は多いと思います。でもそんなに簡単なものではないのです。いろいろな性とは何かを考えられる本です。

これらの本以外にも「ストレスやトラウマのこと、暴力や虐待、薬物など」子どもに知ってほしい本を集めました。5月6月の児童特集コーナーで紹介と貸出した後は、児童室入口の島田文庫に自ら手に取れるよう常置します。子どもたちや保護者のみなさんに読んで頂きたい本です。ぜひ図書館児童室にお越しください。